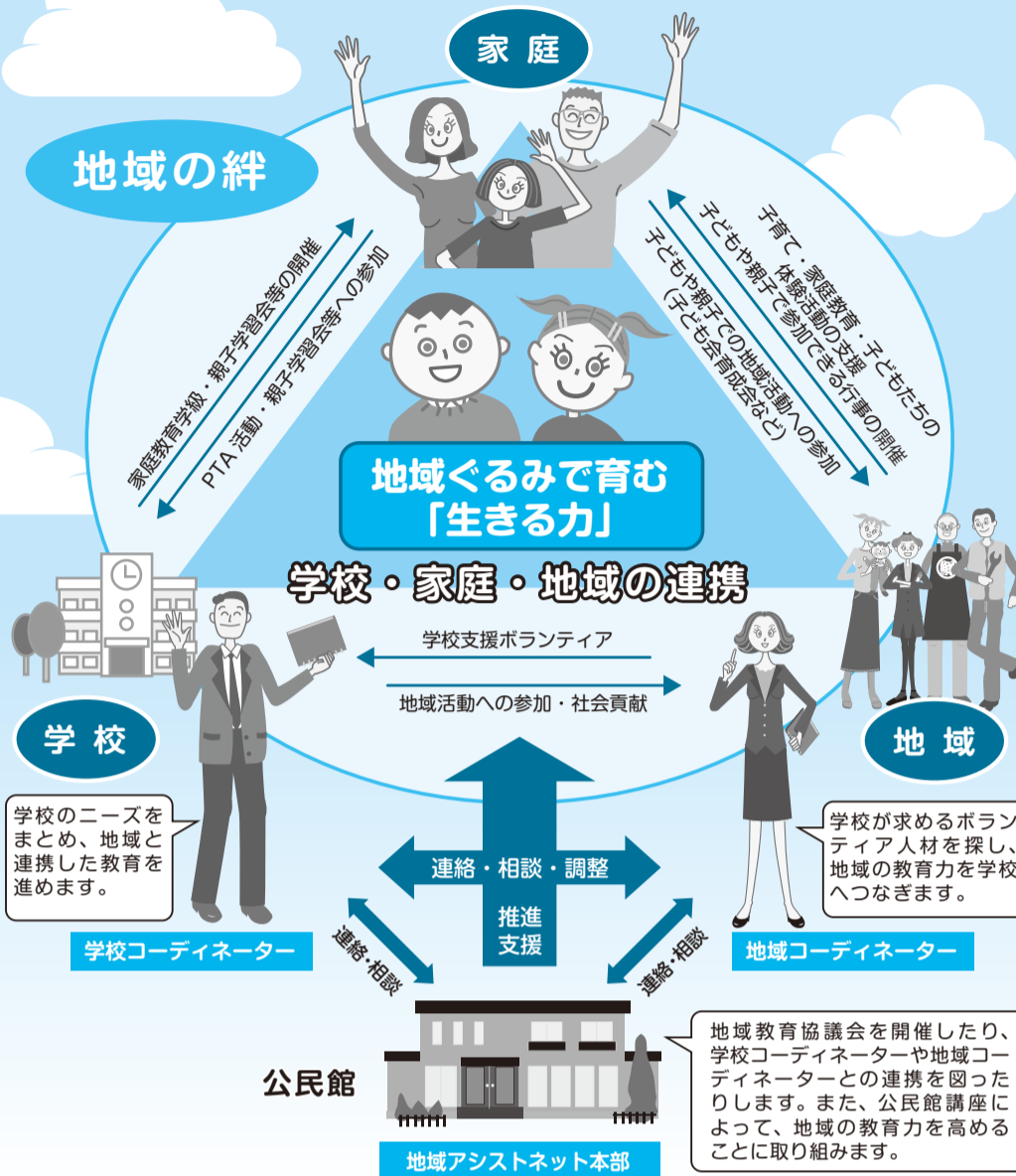


教育システム「とちぎ未来アシストネット」とは？

◆問合せ先 生涯学習課 ☎(21) 2488



特徴 1

市内すべての小中学校及び学区に「学校コーディネーター（学校職員）」、「地域コーディネーター（地域住民）」を配置し、それぞれが連携して学校や地域でのボランティア活動の支援を行います。

特徴 2

栃木市を、栃木中央、東陽、皆川、吹上、寺尾、大平、藤岡、都賀、西方、岩舟の10エリアに分け、各エリアの公民館に「地域アシストネット本部」を設けています。その中に、学校や地域、公民館の代表者で構成する「地域教育協議会」を設置して各エリア内での事業の推進を図っています。

特徴 3

全市域対象の「アシストネット推進委員会」を設置し、各エリアの取り組み状況についての情報交換や全市に関わる成果や課題の検証等を行い、更なる推進への方針を示しています。

地域コーディネーター 柳田 和子 さんのお話

地域コーディネーターを始めて5年。多くの人たちと繋がることができ、自分の地域を更に知ることができました。何より、学校に関わって、子どもたちから笑顔とパワーをもらい、いつも若々しくいられます。



『いいまち』は“いい地域・いい学校・いい家庭”を育てます！
“いい地域・いい学校・いい家庭”は『いいまち』をつくります！

「とちぎ未来アシストネット」を基盤にした新しい取り組み

栃木市では、平成29年度より次の2つの取り組みを進めています。

「とちぎ未来アシストネット」の構築により充実した‘学校・家庭・地域の連携協働’を基盤に、新しい時代に求められる「次世代の学校づくり」を目指します。

コミュニティ・スクール

学校と家庭・地域がより一体となった学校づくり

保護者や地域住民の代表の皆さんが、一定の権限と責任を持って学校運営に参画する合議制の機関を「学校運営協議会」といい、この学校運営協議会を設置している学校が「コミュニティ・スクール」となります。

今年度より栃木市では、全ての公立小中学校がコミュニティ・スクールとなっており、それぞれの学校運営協議会では、次のようなことが話し合われています。

- ① 校長が作成する学校運営の基本方針について
- ② 学校における教育活動への意見について
- ③ 学校と家庭・地域が連携協働して行う活動について
(とちぎ未来アシストネットの活動について)

コミュニティ・スクールの導入により、各学校における家庭・地域との一体化は更に進み、「地域人材を活用した教育活動の充実」「保護者同士や地域の方々の人間関係の構築」等の効果が期待されています。



◆問合せ先 教育総務課 ☎(21) 2467

小中一貫教育

小中学校9年間の一貫性のある学び

本市では、平成23年度から小中姉妹校化事業を通して、中学校区内の小中の連携を深め、地域として一体感のある教育を進めてきました。

そして平成29年度からは、更なる小中の連携・交流の強化に努め、学力向上及び中1ギャップの解消を目指して、市内全中学校区で‘小中一貫教育’をスタートします。

本市の小中一貫教育は、施設分離型であり、現在の施設を利用して行います。そこで、義務教育9年間の一貫性のある教育を推進するため、中学校ブロックごとに「目指す子ども像」を設定し、それを学校・家庭・地域で共有して、児童生徒の実態に合った特色ある教育活動を行います。

本市の小中一貫教育の特徴は、コミュニティ・スクールの核である学校運営協議会を通して、教育活動の計画から実行、評価、改善まで、学校・家庭・地域が連携し、地域ぐるみで小中学校9年間の学びを支えることです。



◆問合せ先 学校教育課 ☎(21) 2474